＜空白行＞

津久戸大橋第１橋の設計・施工

＜空白行＞

津久戸建設(株)　　正会員　博士(工学)　○津久戸　一郎

津久戸建設(株)　　　　　　　　　　　　　飯田橋　太郎

神楽坂大学大学院　学生会員　　　　　　　　神楽坂　花子

＜空白行＞

Abstract：（コロンの後ろから書き始めてください）原稿区分が「論文」の場合，執筆者名の次の行を１行あけ，英文にて『Abstract』を記載してください。英文要旨は10行(概ね120単語)以内とし，書体はTimes New Roman 10ptとしてください。英文要旨の後にキーワードとなる英単語を3～4つ記載してください。

＜空白行＞

Key words： Manuscript , Writing point , Form

＜空白行＞

１．はじめに

このファイルは，プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウムへの投稿原稿作成時に，頁数や図表配置をわかりやすくするためのテンプレートです。原稿作成にご利用ください。

原稿は，PDFファイルで提出して頂きます。**ファイルサイズは 3.0 ＭＢ以内とし，印刷した場合のページ数がＡ４判・４または６ページとなるよう原稿を作成してください**。これを超えた原稿は受付けられません。また，投稿するファイルはPDF形式とし，圧縮ツールは使用しないでください。

なお，Adobe Reader8.0以降のバージョンを用いて，執筆者の意図したとおりにPDFファイルの原稿が印刷されることを確認してください。特に，英文要旨の文字化けやフォント化け等の事例がありましたので，特殊文字などは使用しないように留意し，PDFデータ作成後に必ず原稿を確認してください。

PDF化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。上記のファイルサイズ以内に納まる限り，執筆者の自由とします。DVD版論文集はカラーでの掲載であり，原稿はカラーで作成して頂いて構いません。ただし，印刷版論文集は白黒印刷のため，挿し絵，グラフ等は白黒印刷で出力しても内容が確認できる配色，書式にしてください。さらに，編集の障害となりますので，PDFファイルにパスワードの設定は絶対に行わないでください。このテンプレートは，著者3名が投稿する場合の例を示します。連名者は講演者を含めて最大4名までです。ページ設定は，本文の文字数が，45文字／行×42行／ページです。

＜空白行＞

２．原稿タイトルおよび執筆者

２．１　原稿タイトル

原稿タイトルは中央配置，ゴシック12ptとし，全角35字以内としてください。半角文字は使用せず，2行にはしないでください。サブタイトルを付けられる場合は，サブタイトルも含めて35文字以内としていただき，サブタイトルの前後には“－”を付けてください。「津久戸大橋第１橋の設計・施工－ＩＣＴを使用した〇〇対策－」などです。なお，サブタイトルは必須ではありません。

２．２　執筆者および連名者

題目から1行あけて右詰めで，所属，会員区分，学位，執筆者名(ゴシック10.5Point)を記入してください。執筆者の順序は発表者，連名者(3名以内)の順とし，発表者の氏名の前に○を記入してください。発表者と連名者の所属が同一の場合でも，全員所属の記載が必要です。また，会員でない場合，“非会員”の記載は必要ありません。所属は所属機関名，所属大学名，所属会社名のみを記載していただき，部署名，学部名までは記載しないでください。なお，「株式会社」などの法人の種別は，(株)のように省略して記入してください(半角のカッコに全角の”株”とし，環境依存型の“㈱”などは使用しないでください)。

＜空白行＞

３．見出し

見出しは，「１．大見出し」，「１．１　中見出し」，を基本とし，これ以下は「(1)　」を用います。さらに細かく分けたい場合には，「１．１．１　小見出し」を用いてから，「(1)　」を使用してください。これ以上の細分化を不可とします。なお，見出しのフォントはゴシック10.5ptとしてください。大見出しの前の行は１行あけてください。中見出し、小見出しおよび一番小さな見出しの前の行はあけないでください。

　１．大見出し　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１．大見出し

　１．１　中見出し　　さらに細分化したい場合には　　１．１　中見出し

　(1)　小見出し　　　　　　　　　　　　　　　　　 　１．１．１　小見出し

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(1)　見出し

＜空白行＞

４．本文の書式および図・表・写真のキャプション

４．１　本文

本文のフォントは英数字も含め明朝体10.5ptとしてください。また，句読点は「，」「。」を使用してください。

４．２　図・表・写真

(1)　番号の付け方

　図-1，表-1，写真-1などとします。図，表，写真でそれぞれ番号を振ってください。さらに細かく図1-2のようには使用しません。図-1の中に複数個の図を配置したい場合には，それぞれ順に(a)，(b)，(c)を用いてください。写真のみの場合には，写真とし，図や表と写真とを組み合わせる場合には，図，表，として扱ってください。

(2)　キャプション

　図・表・写真のキャプションは，以下の例のように記載し，フォントはゴシック10.5ptとし，ハイフンおよび図番号は半角としてください。また，本文中の図-1や表-1，写真-1などの記載もキャプション同様にフォントをゴシック10.5ptとしてください。なお，実際に図・表をレイアウトする場合には，図タイトルは図の下に，表タイトルは表の上に配置します。



図‐1　図キャプション配置

写真‐1　写真配置の例



表‐1　津久戸大橋第１橋の諸元

＜空白行＞

５．送りがな・技術用語集について

　原稿執筆の統一を図るため，「送りがな・技術用語集」ファイルがダウンロードできるようになっています。「送りがなや技術用語」は，この慣例に準じますので原稿執筆の際にはご確認をお願いいたします。なお，「原稿内での表現の統一を図る」などの理由で，【送りがな・技術用語】以外の用語につきましても，査読時に変更をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。

＜空白行＞

６．書式フォーマット

　原稿書式のフォーマットは変更せずに使用してください。特に余白は論文集作成の際に原稿が途中で切れてしまうなどのトラブルとなりますので変更しないでください。

＜空白行＞

７．商品や工法の固有名称についての留意点

タイトルおよび見出しには、工法などの名称に固有名詞的なものは使用せず、内容が分かるような一般的名称を用いてください。本文中、キーワードには、工法などの名称に固有名詞的なものの使用は差し支えありませんが、商業宣伝に偏する記載は避けてください。

商品名は、タイトル、見出しも含め、本文中での使用は避け、必要に応じて一般的名称で表記してください。その際、商業宣伝に偏する表現は避けてください。特許番号、NETIS番号などの記載も、タイトル、見出しも含め、本文中での使用を避けてください。

＜空白行＞

８．転載についての注意

図・表・写真にも，著作権が認められています。他稿から引用する場合は，その出典を参考文献として明記するとともに，投稿内容に著作権の侵害がないことを著者ご自身で確認してください。

WEBで閲覧可能な地図，画像などにも転載できないものがあります。国土地理院地図は出典元および編集・加工を行った旨を記載すれば転載・複製が可能ですが、Yahoo地図やGoogle Mapなどは転載が許可されていません。ご注意ください。

＜空白行＞

９．著作権譲渡書

　原稿完成時に著作権譲渡書をご提出ください。論文集への掲載は，原則として著作権譲渡書を提出いただく必要があります。詳しくは執筆要領の著作権に関する項目をご確認ください。

＜空白行＞

参考文献

1) 飯田太郎，神楽花子：プレストレストコンクリートの力学的性能，プレストレストコンクリート，Vol.1，No.2，pp.20-25，2005.11

2) 飯田太郎：プレストレストコンクリートの耐久性評価，プレ ストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集，Vol.19，pp.225-231，2010.10

3) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編，p.110，1996.4

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５

２

３

４　　　　　**余白は変更しないでください。**

５

６

７

８

９

１０

１１

１２

１３

１４

１５

１６

１７

１８

１９

２０

２１

２２

２３

２４

２５

２６

２７

２８

２９

３０

３１

３２

３３

３４

３５

３６

３７

３８

３９

４０

４１

４２